

10/15 受け継がれる伝統芸能

～のばらさん～



1. 全国より一月早い七五三を祝うため、多くの親子連れが訪れました。2. 節頭行事。本年は風流節頭保存会が奉納しました。たくさん見物者が見守る中、祝い唄が朗々と響きました。3. 毎年秋季大祭に合わせて実施される市みどり推進協議会による苗木の配布。今年はツツジが配布され、家族連れなどに手渡されました。

毎年恒例の野原八幡宮大祭は、野原八幡宮で行われました。

七五三を祝う親子連れなどが多く訪れる中、熊本県指定重要無形民俗文化財の「風流」（本紙表紙）と、荒尾市指定重要無形民俗文化財「節頭行事」がそれぞれ奉納されました。

「風流・節頭」は八幡宮の地元地域と旧荒尾郷（荒尾・長洲地区の一部）の伝統芸能で、およそ760年の歴史があり、風流節頭保存会によって大切に伝統が受け継がれています。

10/16 ふれ愛の場となった有明公園

～有明ふれ愛まつり～



さ ▶元気に演奏を披露した園児のみな

第7回有明ふれ愛まつりは、有明元気づくり主催で開催されました。昨年度は雨模様となり残念ながら有明小学校体育館で開催されましたが、今年は秋晴れの下で開催されました。

会場となった有明公園では、ステージ発表や食品バザーが行われました。特設ステージでは地域の皆さんによる踊りやカラオケ、有明高校太鼓部による演奏、あけぼの幼稚園園児によるダンスなどが披露されました。およそ800人が来場し、楽しいひと時を過ごしました。

10/16 地域発！秋の味覚を楽しみました

～カライモ掘り大会～



さん ▶大きなカライモをとるため、皆さん夢中になりました。

カライモ掘り大会は、府本いきいき小岱会の主催で開催されました。金山の赤土から採れる大きくておいしいカライモを目当てに、市内外からおおよそ250人が訪れました。

当日は、大人も子どもも泥だらけになりながら、カライモ掘りを楽しみました。

また、会場ではふかしたカライモと、いきいき小岱会名物のカライモカレーが振る舞われ、参加した人は、青空のもとで地域の秋の味覚を楽しんでいました。

10/16 被災地への想いを胸に

～こすもすの里チャリティ～



り ▶軽快なリズムとトークで会場を盛り上げました。

八幡小学校でこすもすの里チャリティーコンサートが開催されました。このコンサートは東日本大震災と紀伊半島豪雨災害で被災した人々を支援するためのものです。当日は雨のため急きょ会場を変更しての開催となりました。

ブリヂストン吹奏楽団と荒尾高校吹奏楽部の皆さんによる演奏で、アニメの主題歌や歌謡曲が披露されました。休憩時間中にはクイズ大会が開催され、正解者には荒尾梨の新高が振る舞われるなど、会場はおおいにぎわいました。

10/8・9 「荒尾梨」を全国へ売り込もう！

10/17 ～荒尾梨販売会を東京と福岡で開催～



し ▶訪れた人に梨の試食を配布。美味しそうな表情が印象的でした。

荒尾梨の試食販売会は、10月8日（土）、9日（日）に東京の銀座熊本館で、17日（月）に福岡市役所横ふれあい広場で行われました。

今回の催しは、JAたまなと荒尾梨部会の協力により実現し、両会場には多くの人が訪れました。荒尾梨は「甘くて美味しい！」「大きい！」と大好評。全国での知名度はまだ高くない荒尾梨ですが、今回のイベントをきっかけに、荒尾市の宝・荒尾梨を全国ブランドにするため、ますますPRしていきたいと考えています。

10/16～20 日中友好の架け橋へ

～ACCU 国際教育交流事業～



心 ▶万田坑を訪れ、ガイドの説明を熱心に聞く皆さん。

財)ユネスコ・アジア文化センターが国連大学の委託を受けた国際教育交流事業の一環で、中国から教職員34人が本市を訪れました。市内の小・中・養護学校、宮崎兄弟生家や万田坑を視察し、第一小学校では児童と授業交流を行いました。

本市には、中国建国の父として敬われている孫文と宮崎滔天の固い友情で結ばれた絆があります。今回の事業は、教育事業の研修だけでなく、将来的に中高生同士の相互交流や民間交流へつなげるものとなるでしょう。

10/25 認知症でも安心して暮らせるまちに

～県知事から功労団体として感謝状～



長 ▶池田佳寿子会長（左）と黒田直副会長（右）が市長を訪問しました。

荒尾・長洲地域ほのぼの老人懇談会が、「熊本県認知症になっても安心して暮らせるまちづくり功労者団体」として県知事から感謝状を受け、前畑市長に報告しました。

同懇談会は、荒尾・長洲地域の高齢者とその家族が安心して生活ができるような地域づくりを目指し、保健・医療・福祉の各分野の関係者の連携強化、ネットワークづくりを推進しています。荒尾・玉名地域では初めて、団体として表彰を受けました。